

令和5年度 市民参画協働政策研究会（協働ワーキング）報告書

1 構成員

委員：拜郷委員、福田委員、河野委員、辻委員、高橋委員、藤井委員、今北委員、田中委員、水谷委員、児玉委員

事務局：自治・共助振興室

2 はじめに

市民参画協働政策研究会（協働ワーキング）は、平成21年4月に市民と行政との協働によるまちづくりを考え、「長岡京市オリジナルの協働の形」を探るために立ち上げられ、15年目となる。

今日、少子高齢化は急速に進行し、地域を取り巻く環境や人々の価値観も大きく変化している。市民のニーズも多様化し、行政のみならず多様な主体が互いの役割を補完し合い、協働してまちづくりを担う必要が強まっている。一方、なぜ「協働のまちづくり」が必要なのかということや、「協働のまちづくり」を行うためには何が必要なのかということが市民も行政も十分には把握できていないのが現状であり、課題となっている。

そこで、協働ワーキングでは、平成23年3月に協働のまちづくりの意義や具体的な手法及び道筋をわかりやすく示した「市民協働マニュアル（初版）」を作成し、平成24年度には「市民協働マニュアル【はじめの一步編】」を発行した。平成25年度は市職員の協働意識の向上を目的とし、職員アンケートや職員基礎研修、協働事例紹介の取組を実施し、平成26年度以降も継続した取組を行っている。

3 活動実績

令和5年度の協働ワーキングでは、市職員の協働意識の向上に向け、係長級職員を対象とした市民参画協働研修やコミュニティコーピングゲーム体験の企画などを行った。また、市の協働に対する考えを市民活動団体に伝えるために協働アンケート調査を実施した。

- ① 市民参画協働研修の内容を企画・運営
- ② コミュニティコーピングゲーム体験会を企画・運営
- ③ 協働ニュースの発行
- ④ 協働に関する職員アンケート調査の実施

協働ワーキングは4回の会議・打ち合わせを実施。

日時	内容
令和5年5月29日（月） 15:00～16:30	第1回市民参画協働政策研究会（協働ワーキング） ・自己紹介 ・令和5年度ワーキングの取り組み内容について ・コミュニティコーピングゲームの紹介
令和5年7月4日（火） 13:30～15:30	第2回市民参画協働政策研究会（協働ワーキング） ・コミュニティコーピングゲーム体験 ・コミュニティコーピングゲーム体験会の実施検討
令和5年8月4日（金）	協働ニュース No.44の発行（庁内インフォメーション）
令和5年8月8日（火） 18:00～	コミュニティコーピングゲーム体験会
令和5年8月29日（火） 13:30～15:30	第3回市民参画協働政策研究会（協働ワーキング） ・令和5年度市民参画協働研修の内容について ・職員アンケートについて
令和5年12月3日（日） 13:30～16:00	第1回まち活MTG ・協働ワーキングメンバーの中から希望者が見学
令和6年1月24日（水）	協働に関する職員アンケート調査期間

～3月1日（金）	
令和6年1月29日（月） 13:30～16:30	係長級職員向け市民参画協働研修会の実施 講師：NPO 法人テダス 高橋 博樹氏 ・ 営利と非営利について ・ 協働について ・ わくわく会議について ・ 企画のつくり方
令和6年3月12日（火） 13:30～15:30	第4回市民参画協働政策研究会（協働ワーキング） ・ 市民参画協働研修会の実施報告 ・ まち活MTGの総括 ・ 職員アンケートの発表方法について検討

4 成果

① 市民参画協働研修の内容を企画

市民参画協働研修は、係長級職員を対象に実施し、43名の参加があった。協働ワーキングメンバーは研修内容の企画を行った。「営利と非営利について」、「協働について」、「わくわく会議について」、「企画のつくり方」の講義を受け、その後グループワークを行った。グループワークでは、「今、気になっていること」をテーマにグループ内で相談内容を書いたシートを回し、回ってきたシートに解決案やコメント等を記入、その中で採用したい案を選び、会議で重要な発散と収束を実践した。良い会議を作ることができるファシリテーターになることを目標に、それぞれが講義の内容を意識してグループワークに臨んだ。

② コミュニティコーピングゲーム体験会

コミュニティコーピングゲームとは人と地域資源をつなげることで「社会的孤立」を解消するという視点を学べるボードゲームであり、地域の人々の様々な仕事や活動について認識することができた。時間外にも関わらず、ワーキングメンバー＋庁内職員＋福祉関係者15名の参加があった。

③ 市民参画協働ニュースの発行

協働ニュースでは、ワーキングメンバーがコミュニティコーピングゲームを体験した感想と、コミュニティコーピングゲーム体験会の開催のお知らせを掲載した。

④ 協働に関する職員アンケート調査の実施

職員アンケート調査を紙により取りまとめ、回答数は448名と前回より36名増となった。職員目線の協働に対する考えを市民に知ってもらうため、今回から意見や体験談を多く記入できるよう自由記述を増やしている。AI-OCRとChatGPTを活用することにより、自由記述部分の回答をジャンル別にとりまとめることができた。アンケート結果はホームページに掲載し、市民活動サポートセンターにも共有する予定である。また、令和6年度は市民活動サポートセンターとより密接に連携・情報共有を行い、市の協働に対する考えが市民により伝わるような手段を検討する。

5 おわりに

係長級職員を対象に実施した市民参画協働研修の参加者アンケートでは、営利・非営利の違いを理解できたことや、良い会議を作るための手法を知ることができてよかったという声が多かった。今年度は、係長級に向けた職員研修や地域資源とつながる必要性が学べるコミュニティコーピングゲーム体験により市職員組織の協働に対する意識の向上を図った。また、市が協働相手に求めることの協働時のマインドを市民協働団体に共有することを念頭に職員アンケートを実施した。

引き続き協働のまちづくりの推進と実態の研究を行う中で、対等な協働とそれが可能な組織づくりを模索していきたい。